

# 前期自治委員会総会の 感想文に対する回答

2012年度前期自治委員会総会では、感想文を通して多数の意見・質問が学生自治会へ寄せられました。

ここでは、それらに対する学生自治会の回答を掲載します。



## 決議案提議に関して

**質問：**「大阪府市統合」の動きに注視とは、具体的にどういった活動を行うつもりなんですか？  
学生に向けて発信はどういった形ですつもりですか。

**回答：**決議にありますように、情報収集手段を活用して、府市大統合の情報を収集し、また、情報誌などを用いて学生に周知します。

**質問：**[大学運営に関する活動]の(1)の「学部制の専門科目が隔年開講になる」事に対する返答がかかれていないのですが、どのような返答があったのですか？

**回答：**大学からは、「原則として、隔年開講化が進んでいるのは高度な専門科目であり、今後の科目の履修にとって必要な専門基礎科目などは毎年受講できるように図っている。万一、専門基礎科目で隔年開講化してしまって、他の科目の受講に差し障りが出るような事態があれば、知らせてほしい」という旨の返答がありました。  
また、隔年開講化は、学習の機会を損ない、また、学生の学びたいという意欲を疎外すると学生自治会は考えたため、各専門科目を毎年開講してもらえよう、話し合いを行いました。が、「高度な専門科目であればあるほど、教えることができる教員の確保が困難となるため、毎年開講することは難しい」との返答がありました。

**意見：**府大市大統合について市大の学生団体を知らないというのは「注視」していないのではないのか。

**回答：**大阪市立大学に存在する公式の学生団体については、すべて調査を行いました。その際「学生自治会」を見つけることができませんでした。しかし、「非公式団体」(サークルなど)としてならば、存在するのではないかという考えのもと、調査中であったため、総会当日は「大阪市立大学の学生団体を把握しきれていない」という旨の返答をさせていただきました。現在では、公式・非公式ともに大阪市立大学に「学生自治会」が存在していないことは確認しております。

**質問：**「総合学生室」という形でおけなかったならば、何か別の形で対応したのか。

**回答：**両委員会に対し、「総合学生室」について、「りんくう生が中百舌鳥キャンパスとの地理的な距離に疎外されず、白鷺祭および友好祭に関して、企画出店の手続きなどの活動を行うための場」といった方針の提案を行ってはいましたが、実際の活動方法などについては綿密な協議がなされていなかったことから、総会当日は「両委員会との間で協議を行うことができなかった」といった旨の返答をさせていただきました。  
また、「総合学生室」が実現・発足した際には、「総合学生室」が学生自治会の発案である以上、両委員会に不利益が生じることのないように取り計らっていくつもりです。

**質問：**第 39 回七夕祭において、七夕祭の原点に戻り首都大戦を盛り上げることを目的としていることに決定したということだが、首都大戦を盛り上げるためにどういったものを行おうと考えているのか。

**回答：**・第 39 回七夕祭では首都大戦を盛り上げるため、本学の学生や地域住民がスポーツに関心を向けていただけるよう、スポーツコンテストやマネージャーコンテストなどの企画を実施しました。

**質問：**「立て看の管理の強化」は白鷺祭だけなんですか？それとも今年のことだけを考えそのように表現しているのですか？

**回答：**決議にあるものはこれから半期の活動方針ですので半期分の活動しか書いていません。決議にありますように、白鷺祭本祭典中には立て看板の周囲にロープを貼る等管理の強化を行います。日ごろの管理は今までと同様に実施していきます。

**質問：**理学部がなくなってしまったのでこれから 4 理 inLAB はどうなるのですか？

なんで理学部だけそんな冊子があるのですか？

少し他学部にとっては不公平感が出てしまいました。

同じ学費を払っているのだから公平にして欲しいです。

**回答：**研究室についての情報が少なく、どの研究室を選べばよいかイメージがわからない」という理学部の学生からの声があったことがきっかけとなって、理学部の学生を対象に研究室紹介冊子『4 理 inLAB』を配布していました。しかしながら、『4 理 inLAB』が研究室を決める際の具体的な指標になったかどうかを確認するための評価アンケートを行ったところ、回収枚数が 30 枚と在籍人数から鑑みて十分な枚数を回収することができませんでした。そのため、正確な反響をつかむことができず、持続的な活動は困難と判断したため、2011 年度 5 月 7 日の発刊を最後に『4 理 inLAB』についての活動は終了しました。

**意見：**どれが決議案なのか分からなかった。

案なら案と示すべき。今回は、「方針」が案なのか？

又、どういった活動をしてきたのか、どういった活動を予定しているのか、各活動について詳細を示してほしい。

**回答：**学生自治会は緊急時には活動方針にない活動も行います。そのため、活動報告という形で学生の皆さんの承認を得る形を取っております。ですので、活動報告も含めて決議案となります。

自治委員会総会での決定が私たちの活動方針となります。

## 決算報告・予算案提議に関して

**意見：**セキュリティソフトは無駄ではないのか？有料ソフトじゃなくてフリーでもいいやつはあるが…。

**回答：**自治会のパソコンには個人情報や消失してはいけないデータなど、大事なものを扱っています。無料ソフト場合、有料のものに比べて機能が少なく、もしウィルス感染したときに保証がかかりません。個人で扱っているものではないので、学生自治会が管理するために有料ソフトの使用を行っています。

**質問：**白鷺祭実行委員会の予算(決算)が去年よりまた増えているのは何故ですか？

**回答：**学生団体の援助金は、団体の会計の方と話し合った上で決めています。そのため、予算のようになりました。

**質問：**友好祭の開催日数の減少に伴い、予算が減額していますが、減額した分はその他の項目に加算されてはいないのでしょうか？

**回答：**自治会は営利を目的には自治会費を使っていません。ですので、自治会の何らかの活動で還元するようにしています。

**質問：**印刷機購入費積立金って今年で全額使ってしまうとこれから何かあったら大変じゃないですか？

**回答：**印刷機購入費は、別に積立金を設置しそちらから捻出しているため、急に必要になった場合に対応するお金とは別となっています。

**質問：**書記局費は削減しないのか？

**回答：**書記局費は、これからも無駄の削減を行い減らすようにしていきます。具体的には印刷機の紙の消費量を減らしたり、余分な物品の購入を行わないようにして削減を行っています。

**質問：**研修費はどの活動に使っているのか？

**回答：**りんくうキャンパスでの活動を行う際にかかる費用になります。また、入学式の際のクラブ紹介が円滑に行われるようにするためにかかる費用にも使われています。

**質問：**研修費の予算と決算が違うのはなぜか？

**回答：**今年度セミナーに参加しないのでこのようになりました。

**意見：**クラスオリエンテーションの時にご飯系のものを出してほしい

**回答：**いつから始められるのかわからないのでご飯のようにあしがはやいものを出すわけにいきません。

**質問：**入学手続きの時の誘導ミスってどういうことですか？ちゃんとしてください。

**回答：**来年度はこのようなことがないよう、大学と学生団体間で話をちゃんとして決めようと考えています。

**質問：**新聞はどこのをとっていたのですか？

**回答：**朝日新聞のみを取っていました。それは、朝日新聞がとくに教育に関して詳しい記事を掲載していると判断したためです。

**意見：**会計の方の発言の「とりあえず」って何ですか

**回答：**公の場にふさわしくない言葉を使ってしまい申し訳ありません。後期ではそのようなことがないように気をつけます。

**質問：**自治会費とはなんですか？

**回答：**自治会室に来てくだされば、担当のものが説明します。

**意見：**予算・決算の会計資料の回収が早いです。

**回答：**この資料には角印を押しているため、流失を防ぐために回収を行っています。もし、会計資料が見たい場合は、お近くの議運にお声をおかけください。

**質問：**学費の方に自治会費を盛り込む事は出来ないのか？

**回答：**学費は大学に支払うもののため、自治会費の徴収をすることはできません。また、大学と独立している学生自治会が自治会費を学費にもりこむことは出来ません。

**意見：**交通費を研修費から出しているのはおかしい

**回答：**自治会の活動で本当に必要なときに使っています。会計がおかしいということはありません。

**質問：**自治会の加盟手続きのミスはどうして起こったのか？

**回答：**自治会が手続きを行った3階への誘導は生協に任せていました。しかし、当日誘導する人が誰もいなかったため、おおよそ100人の人が何も知らないで帰ってしまうという事が起きてしまいました。来年度は、このことがないように各方面で調整を行っていきます。

**質問：**新聞をやめたのは何故ですか？

**回答：**現在の新聞では、偏った報道やちゃんと情報を流すことがないため、新聞を主にして情報収集する意義が失われています。そのため、現在の情報収集の体制を見直した結果、新聞にこだわるのではなく様々なものを駆使して情報集する方がいいと判断したためです。

**質問：**今年度の第64回白鷺祭への援助金が5,000円減額されているのはなぜですか？

**回答：**援助金は減額はしていません。

## 総会全体に関して

**意見：**●学科・学類・学年ごとの話し合いを、会計資料を数えている間、暇な、ムダな時間が存在します。

●会計資料回収に時間がかかりすぎです。

●議題提出者が発言している途中にもかかわらず、議場を自治会役員が注意や確認のためにうろついており、気が散るのであまり歩き回らないでほしい

**回答：**ありがとうございます。このような意見があったことを考慮し、今後の総会運営の方法を検討します。

**質問：**話し合いがいるのか？

**回答：**総会において、各学科または学類の学年ごとの代表である代議員だけが議決権をもつため、代議員には採決の際に学科または学類・学年の代表としての立場を示していただく必要があります。そこで、採決に直接は参加できない評議員の考えも反映していただくため、各学科または学類の学年ごとで話し合っています。

## その他

**質問：**●代議員・評議員を分別する理由はなんなのか、よく分からない。同じように等しく学生生活を送っているのに違い、差があるのはおかしい。

●最後の話し合いで代議員のみで行うとき評議員が残っている必要性があるのかわかりません。

●代議員の選出方法について

どのような基準で選出しているのかお教え願いたいです。

**回答：**各学科及び学類間での決定権の差が生じないように、代議員の定数は各学科の在籍人数に応じて決められています。そのため、自治会費を納められている方でもすでに所属学科・学類の代議員の定員に達してしまっている場合は評議員となります。ご了承ください。

ここで、学科・学類の代表たる代議員がその人個人の意見ではなく、学科・学類の意見を示すためには、評議員の意見が必要です。そのため、総会前半では学科・学類ごとに座席をわけています。

**意見：**毎度のことだが、受付が混雑しているため、開会が遅れているということだが、改善することはできないだろうか。毎回同じ方法で受付しているため、もっと流れをよくするための方法を考えて、実行してみてもいいだろうか

いつも時間がおすので、つらいです。帰りとか。

**回答：**ありがとうございます。このような意見があったことを考慮し、今後の総会の受付の方法を検討していきます。

**意見：**4理 in LAB に関して「回収することができませんでした」って自治会さんが取りにくる、といった日に来なかったからではないんですか、アンケートやらせておいて、取りに来ないって何様ですか。

**回答：**大変申し訳ございません。今後このような事がないよう気を引き締めて活動を行っていきます。

**質問：**人社の冊子はなくなったんですか？

**回答：**アンケートの回収枚数が少なかったため、正確な反響をつかむことができず、持続的に活動していくことは困難だと判断したため、2011 年度 5 月の発刊を最後に人間社会学部情報誌[human]についての活動は終了しました。人間社会学部に限らず、取り上げてほしい問題点があれば、学生自治会までお寄せください。

**質問：**クラスオリエンテーションの場所はどうやって決めるのですか？

**回答：**大学と話し合っただけで決めることになりました。

**質問：**インターネットは無線LANにしないんですか？

**回答：**自治会で検討します。

なお学生自治会では、意見箱やウェブサイトを通して引き続き皆さんの声を募っています。もし意見などがあれば、ぜひご利用ください。

**寄せられた意見などは、今後の学生自治会がよりよい活動を行う上での参考にさせていただきます。**

**ありがとうございました。**